



にしだ小児クリニック併設 病児保育室 クオレ

インフルエンザ 流行のシーズン



11月6日、大阪府 インフルエンザ注意報を発表

『1 医療機関の患者数が、注意報基準の「10」を上回り、これは去年より 1か月早い基準超え』



インフルエンザが流行する前に

インフルエンザを発病した後、多くの人は1週間程度で回復しますが、中には肺炎や脳症等の重い合併症が現れ、重症化してしまう人もいます。

インフルエンザワクチンを打つことで発病の可能性を減らすことや、重症化を予防することが期待できます。なお、接種回数は、13歳以上は原則1回、13歳未満は2回となります。

《インフルエンザ脳症について》

インフルエンザ発病後、急に病状が悪くなる病気で、1歳をピークとして幼児期に見られます。

その初期にはインフルエンザの症状に加え、早期の段階（多くは24-48時間以内）で、嘔吐、異常行動、意識障害、けいれんなどの症状が現れます。このような症状が見られた際には、速やかに医療機関を受診して下さい。

また、強い解熱剤によって、インフルエンザ脳症がより重症化するがあるため、解熱剤の使用はかかりつけの医師に相談して用いましょう



インフルエンザと風邪の症状・流行時期

	インフルエンザ	風邪
症状	38度以上の発熱 局所症状（のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など） 全身症状（頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感、など） 急激に発症	発熱 局所症状（のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など） 比較的ゆっくり発症
時期	12月から3月（1月から2月が流行のピーク） (注)4月、5月まで散発的に続くことも	年間を通じて。特に季節の変わり目など